

<12月第二(事務)例会報告>

会長 藤井久子



・日時：2016年12月1日(木曜)

19:00~21:00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：佐伯、杉本、舘、達、丹家、中村、西田、野呂、檜木、藤井

1. 報告事項

- (1) 西日本区大会 第2回準備委員会報告(11月7日) 杉本メン、藤井会長出席
- (2) ワイワイまつり評価…メールにて後日報告
- (3) チャリティーラン実行委員会(12月2日) 中村メン出席予定
- (4) クリスマス行事
 - ・神戸市民クリスマス 12月16日(金) 18:00~神戸カトリック教会
 - ・宝塚市民クリスマス 12月22日(木) 19:00~宝塚ベガホール 藤井参加予定
- (5) 六甲部部内各クラブクリスマス例会予定
 - ・神戸クラブ 12月10日(土) 18:00~芦屋モノリス
 - ・西宮クラブ 12月17日(土) 18:00~野菜ビストロレューム阪急西宮北口
 - ・神戸西クラブ 12月10日(土) 12:00~グリーンヒルホテル神戸
 - ・神戸ポートクラブ 12月9日(金) 18:45~オリンピア、20:00~グリーンヒルホテル神戸
 - ・宝塚クラブ 12月14日(水) 18:30~宝塚ホテル
 - ・芦屋クラブ 12月23日(金) 18:00~ホテル竹園…中村参加予定
- (6) 東日本大震災報告会
 - ・日時：12月11日(日) 16:30~神戸YMCA カレッジ
- (7) 国際協力募金
 - ・日時：12月11日(日) 14:00~16:00 元町大丸前
 - ・参加予定：佐伯メン、杉本メン、舘メン、中村メン、野呂メン
- (8) 次期・次次期六甲部体制について(別紙)
- (9) YYフォーラム 1月28日(土)
 - ・日時：1月28日(土) 13:00~17:00
 - ・場所：栄光教会

- ・内容：ブランディングについて
- (10) 第2回東西交流会について
 - ・日時：2月4日(土) 午後2時~5日(日)
 - ・場所：日本YMCA 同盟国際青少年センター・東山荘

2. 協議事項

- (1) 西神戸YMCA クリスマス祝会について

・日時：12月17日(土) 17:00 準備、18:00 礼拝、18:45 祝会

3. その他報告事項等 各役員、各委員、YMCA
 - (1) YMCA セミナー・・・11月26日(土) 舘メン達メン田辺メン藤井参加
 - (2) チャリティーラン、黒にんにく報告・中村メン
 - (3) 今後の例会予定
 - ・1月5日(木) 事務例会
 - ・1月19日(木) 第1例会、新年会、長坂さん歓迎会・・・「あみ」にて、会費6000円~7000円
 - ・2月2日(木) 事務例会
 - ・2月16日(木) 第1例会(神戸西クラブと合同) 美味しい日本茶の入れ方
 - ・3月~5月の例会・・・美崎晋氏(神戸クラブ会長)による「ロコモシンドローム」
 - ・音楽例会「フルートアンダンテ」
 - ・フラ例会 等

<餅つきとノロウイルス>

副会長 佐伯一丸



我がクラブでは、10月の「ワイワイまつり」と11月の「チャリティーラン」で餅つきを行っている。これまで幸いノロウイルスによる感染者を出していないが、今後も感染者を絶対に出さないために、次の産経新聞の記事(12月8日版)を参考に、注意事項をまとめた。

平成22年1月、東京都杉並区の幼稚園で行われた餅つきでは、園児や家族、園の職員など136人が胃腸炎を発症。昨年12月には八王子市の保育園で41人が下痢や嘔吐の症状を訴えた。どちらも参加者の手洗いが不十分だった可能性が指摘されている。

ノロウイルスは、汚染された食品や、感染者の嘔吐物や便を触った手などを介して口に入り、感染する。

餅つきは杵と餅がくっ付かないように「手水」を付けた後、つきあがった餅をちぎったりする手などが触

れる工程が多いため、餅にウィルスが付きやすく、感染がたびたび報告されている。

保険所に相談すると（餅つき行事は）「なるべく控えてほしい」と助言されることが多くなってきている。都内の自治体では近年、次のような予防のポイントをインターネットサイトなどに掲載し、注意を呼び掛けている。

餅つきでの食中毒予防のポイント

- (1) 下痢や腹痛など体調の悪い人は餅に触らない。
- (2) 餅を調理する人を限定し、一般参加者に餅を触らせない。
- (3) 調理開始前に全員が、石鹼を良く泡立てて、流水で1回30秒以上の手洗いを2回行う。
- (4) 返し水はこまめに取り換える。
- (5) 餅に触れるときは、使い捨て手袋を使用する。手袋の再使用はしない。
- (6) お汁粉やお雑煮など餅を再加熱して提供する。

我がクラブの餅つきでは、餅丸め及びパック詰め担当者は上記の他に次の注意を払っている。

- (a) 消毒用アルコールでの手洗い
- (b) マスク・シャワーキャップ・エプロンの着用
- (c) 帽子または三角巾の使用（髪の毛の混入防止）
- (d) 床の水内（ほこりの舞い上がり防止）

飛び入りボランティアを含めて、餅のつき手には、これまで手洗いやキャップなどの十分な対策が取れていなかったことが大きな反省点であった。

上記の(1)～(6)、(a)～(d)を守って、衛生面で十分に気を付け、楽しい餅つきを行いたいと思う。



<ワイワイまつり (10/22) の写真>



<チャリティーラン (11/3) の写真>





< 今月の聖句 >

東方の博士は母マリアといる幼子を見て、ひれ伏して拝んだ

そこで、ヘロデは占星術の学舎たちをひそかに呼び寄せ、星の表れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

(マタイによる福音書2章7～11節)

イエス誕生は「マタイによる福音書」では「東方の博士たち」(占星術の学者)に知らせた。彼らがエルサレムに来て「ユダヤ人の王として生まれた方の星が東方で上るのを見たので拝みに来た」と話すと、それを伝え聞いたヘロデ大王(ユダヤの王。のちに救世主出現を恐れて二歳以下の男子を皆殺しにした)は自分の地位が脅かされるのを懸念した。そこで大祭司や律法学者(ユダヤ法の学者)を集めてメシア(救い主)はどこに生まれるかを問いただしたところ、「ユダヤのベツレヘムです」と答えた。この場面につづくのが、この言葉。博士たちは東方(ペルシア?)の人で、ユダヤ(イスラエル)の民からすると異邦人。差別的に扱われた彼ら異邦人に救い主誕生が最初に知らされた。彼らのように「小さな者」の目には、「小さな者」として生まれたイエスの「偉大さ」が見えていたのだろう。

～『声に出して読みたい新約聖書』齋藤 孝 著 草思社 より～